

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 >

参考値

( データ集約 : 11/11 )

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (T-1) (5,6号機放水口から北側に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (T-2-1) (1~4号機放水口から南側に約1.3km地点) <sup>1</sup>		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時	2016年11月10日 6時55分		2016年11月10日 7時20分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND(0.53)	-	ND(0.68)	-	40
Cs-134 (約2年)	ND(0.67)	-	ND(0.59)	-	60
Cs-137 (約30年)	ND(0.68)	-	ND(0.60)	-	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

1 台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、1~4号機放水口から南側に約330m地点(T-2)において試料を採取。(2016年9月16日~)

## 海水核種分析結果 < 1 / 3 >

(データ集約: 11/11)

採取場所 (地点番号)	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に 約30m地点)(T-1)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に 約1.3Km地点)(T-2) <sup>1</sup>		/		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
試料採取日	2016年10月3日		2016年10月3日		/		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND(0.55)	-	ND(0.63)	-	/	/	40
Cs-134 (約2年)	ND(0.64)	-	ND(0.77)	-	/	/	60
Cs-137 (約30年)	ND(0.53)	-	ND(0.58)	-	/	/	90
H-3 (約12年)	ND(1.7)	-	ND(1.8)	-	/	/	60,000
全	ND(1.5)	-	ND(1.9)	-	/	/	-
全	13	-	13	-	/	/	-
Sr-90 (約29年)	ND(0.0073)	-	0.0092	0.00	/	/	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137, 全 については、2016年10月4日公表。H-3については、2016年10月7日公表。

NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

- 1 台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、1~4号機放水口から南側に約330m地点(T-2)において試料を採取。

(評価)

全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、Sr-90の濃度は、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

## 海水核種分析結果 < 2 / 3 >

(データ集約 : 11/11)

採取場所 (地点番号)	福島第一 敷地沖合15km(T-5) 上層		請戸川沖合3km (T-D1) 上層		福島第一 敷地沖合3km(T-D5) 上層		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	試料採取日	2016年10月4日		2016年10月3日		2016年10月3日	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
Cs-134 (約2年)	ND(0.0014)	-	0.0016	0.00	ND(0.0013)	-	60
Cs-137 (約30年)	0.0058	0.00	0.012	0.00	0.0091	0.00	90
H-3 (約12年)	ND(0.33)	-	ND(0.36)	-	ND(0.36)	-	60,000
全	ND(1.6)	-	ND(1.6)	-	ND(1.6)	-	-
全	ND(15)	-	ND(16)	-	ND(16)	-	-
Sr-90 (約29年)	ND(0.0078)	-	ND(0.0068)	-	0.0098	0.00	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

Cs-134, Cs-137については、2016年10月28日公表。

NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

(評価)

Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

## 海水核種分析結果 < 3 / 3 >

(データ集約 : 11/11)

採取場所 (地点番号)	福島第二 敷地沖合3km(T-D9) 上層						炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	試料採取日	2016年10月4日					
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
Cs-134 (約2年)	0.0015	0.00					60
Cs-137 (約30年)	0.0085	0.00					90
H-3 (約12年)	ND(0.33)	-					60,000
全	ND(1.6)	-					-
全	ND(15)	-					-
Sr-90 (約29年)	ND(0.0080)	-					30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値  
 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。  
 Cs-134・Cs-137については、2016年10月28日公表。  
 NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。  
 Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

(評価)

今回測定した試料からはH-3, 全 放射能, 全 放射能, Sr-90は検出されなかった。

福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果

(データ集約：11/11)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水(東波除堤北側)		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	2016年10月3日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND(0.62)	-	40
Cs-134 (約2年)	1.4	0.02	60
Cs-137 (約30年)	9.9	0.11	90
H-3 (約12年)	49	0.00	60,000
全	ND(1.7)	-	-
全	24	-	-
Sr-90 (約29年)	1.8	0.06	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

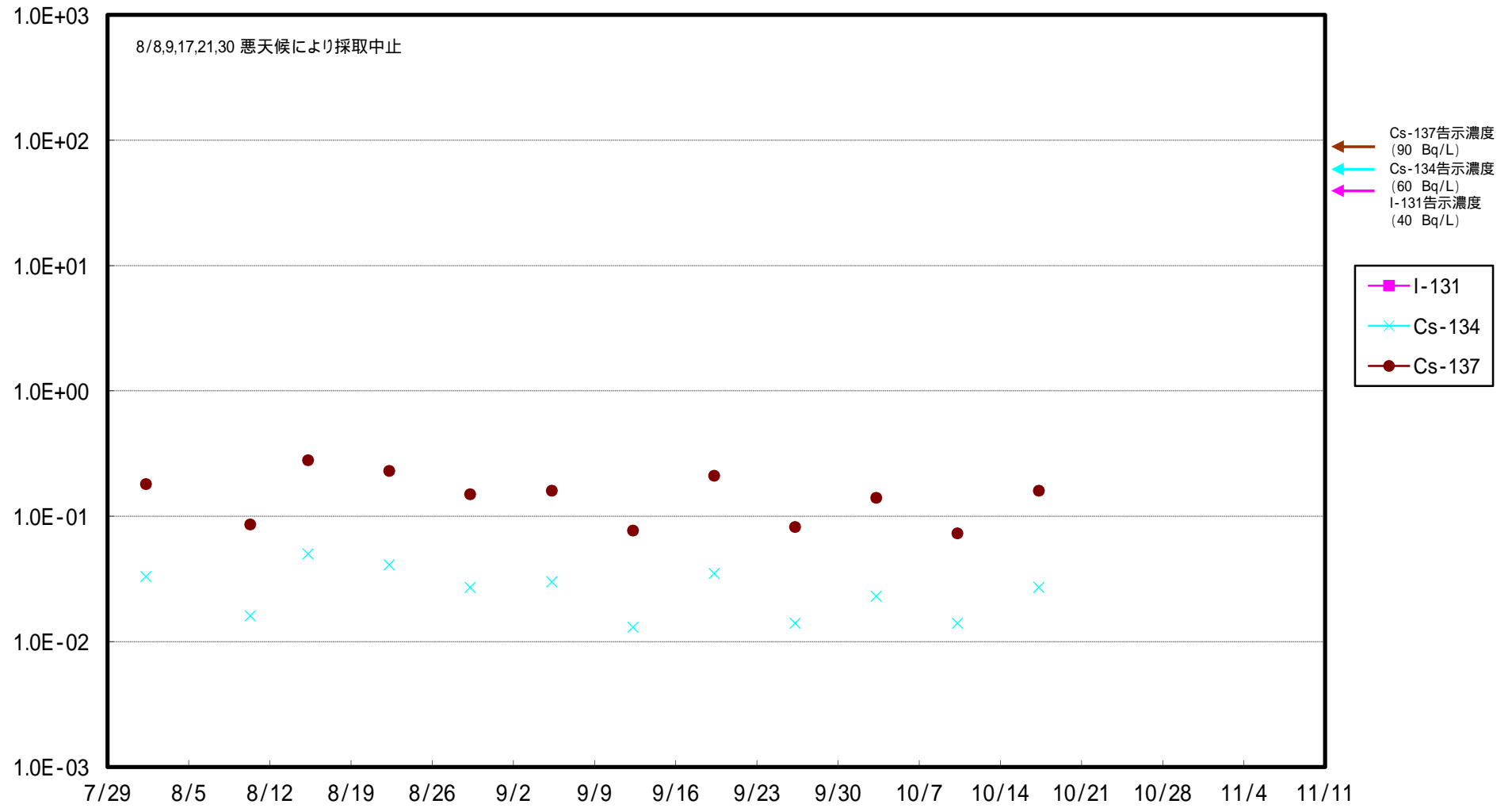
I-131, Cs-134, Cs-137, 全 については、2016年10月4日公表。H-3については、2016年10月7日公表。

NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、H-3, Sr-90の濃度は、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

福島第一 5,6号機放水口北側(T-1) 海水放射能濃度 (Bq / L)



### 福島第一 南放水口付近(T-2-1) 海水放射能濃度 (Bq / L)

